

# イベントプログラム

Argus Biofuels & Feedstocks Asia Conference

2026年4月13日～15日



## 日本語訳

### オプション追加プログラム - SAF フォーカスデー (4月13日)

---

**08:00-09:30 - 朝食&受付**

(全参加者対象)

**09:30-09:35 - 議長 挨拶(開会の辞)**

---

**09:35-10:00 - 基調講演:シンガポールにおけるSAF導入加速に向けて**

- ・ シンガポールのSAF付加金(レヴィ)や地域の義務化政策は、短期的なSAF導入・オフテイクにどのような影響を与えるのか
- ・ インフラ整備、空港の受け入れ体制、官民連携など、シンガポールのSAF展開ロードマップとは?
- ・ アジア各国の航空当局は、シンガポールの政策・インセンティブ設計から何を学べるのか

**登壇者:**

Daniel Ng 氏(チーフ・サステナビリティ・オフィサー、シンガポール民間航空庁)

---

**10:00-10:40 - ショートプレゼン&パネル:政策パズル - アジア太平洋のSAF政策マッピング**

- ・ APAC諸国は、ブレンド義務化、インセンティブ、供給目標を通じてどのようにSAF政策を形成しているか?
- ・ 韓国のバイオ燃料義務化が地域の需給に与える影響とは?
- ・ サステナビリティ基準・認証制度を地域全体でどう調和させるべきか?
- ・ 特に国を跨ぐ会計メカニズムの改善は、SAFのコンプライアンス・調達コストをどう低減できるか?

**登壇者:**

Thirunaukaraser Suppan 氏(シニアディレクター・コンプライアンス、マレーシア民間航空庁)

東 哲也 氏(燃料供給インフラ政策課長、資源エネルギー庁／経済産業省)

Daniel Ng 氏(チーフ・サステナビリティ・オフィサー、シンガポール民間航空庁)

**モデレーター:**

Fadhil Muhamad 氏(SVP 戦略・事業開発、Argus)

---

**10:40-11:20 - ネットワーキング・コーヒーブレイク**

---

**11:20-12:00 - 基調講演:SAFの新たな展開 - 新興ハブと越境取引**

- ・ 規制当局、投資家、空港、航空会社、燃料生産者の協業により、SAFサプライチェーンをどう強化し投資リスクを低減できるか？
- ・ アジアは2030年までにSAF 10%混合をどう達成するか？輸出・需要ハブの役割は？
- ・ 100% SAF (ネットSAF) はどのように調達・ブレンドされ、最終的に30% SAFとして給油されるのか？その際、関係者間でのコスト差をどのように調整して最終SAF量を確保するのか？
- ・ 現状の原料供給やインフラは規模拡大に十分か？代替原料はギャップを埋められるか？
- ・ チャンギ、成田、仁川など早期SAF導入空港の経験から得られる教訓とは？

**登壇者:**

喜多 敦 氏 (国産SAF推進タスクフォース、日本航空)

Doris Tan 氏 (シェル航空 アジア・中東統括)

DHL 上級代表

**モデレーター:**

Jonty Richardson 氏 (シニアマネージャー、Argus)

---

**12:00-12:40 – プレゼン&パネル:アジアのSAF価格形成と供給動向- 生産者のスケールアップ**

- ・ 価格シグナル、クレジット制度、リスク管理戦略は、SAF投資や長期供給契約にどう影響するか？
- ・ アジアの現状SAF生産能力と世界との比較
- ・ 既存製油所はSAF生産にどう適応しているか？
- ・ 原料供給、インフラ、技術といったスケールアップの主要課題をどう克服するか？

**登壇者:**

Steven Bartholomeusz 氏 (APAC公共・規制担当責任者、Neste)

Oscar Vela Sastron 氏 (Repsol)

Ecoceres 上級代表

**モデレーター:**

Alfonso Berrocal 氏 (VP 事業開発、Argus)

---

**12:40-14:00 – ネットワーキング・ランチ**

---

**14:00-14:40 – ケーススタディ:SAFの未来を支える技術 – 新興テクノロジーと拡大への道筋 (HEFA、ガス化+FT、PtL、eFuels、ATJ、コプロセッシング、MTJ など)**

- ・ アジアの原料供給・インフラに最も適したSAF技術は？
- ・ 韓国やタイの商業規模プロジェクト・コプロセッシングの初期事例から得られる教訓は？



- ・ 合成SAFの最大ボトルネックは再エネ水素か? アジアで進む解決策とは?
- ・ 技術選択と原料選択の相互作用が、SAFのコスト競争力をどう左右するか?

**登壇者:**

Jeff Caton 氏 (コマーシャルディレクター Asia Pacific、AXENS)

Ruurd van der Heide 氏 (コマーシャルマネージャー、Power2X)

---

**14:40-15:10 – プレゼン&パネル:SAF資金調達 – 投資家が求める条件とは?**

- ・ 現在どのような投資家がアジアのSAFプロジェクトに資金提供しており、その動機は何か?
- ・ 航空会社との長期オフテイク契約は投資家の信認をどう高めるか?
- ・ レヴィ、バリュークレジット、輸出クレジットなど、複数収益源の積み上げはプロジェクト経済性にどう影響するか?
- ・ 政策や金融スキームは、初期段階プロジェクトのリスクをどう低減できるか?

**登壇者:**

Leonard Tao 氏 (投資責任者、Kerogen Capital)

Dominic Pan 氏 (エネルギー・資源部門責任者、BNP Paribas)

Shanthan Selvakumar 氏 (ビジネス開発部 次長、双日)

**モデレーター:**

Fadhil Muhamad 氏 (SVP 戦略・事業開発、Argus)

---

**15:10-15:55 – ネットワーキング・コーヒープレイク**

---

**15:55-16:40 – パネル:オフテイク契約と航空会社の調達モデル**

- ・ 航空会社はCORSIA、カーボンクレジット、SAF購入判断をどう統合して管理しているか?
- ・ 航空会社が長期オフテイク契約で求める条件 (数量確実性、価格安定性、サステナビリティ証明) とは?
- ・ APACで注目されている価格・クレジットメカニズムとは?
- ・ 航空会社、燃料生産者、投資家の三者協業は供給確保とリスク軽減にどう貢献するか?

**登壇者:**

Boris Mak 氏 (VP サステナビリティ、シンガポール航空)

Peter Mihm 氏 (SAF担当責任者 – APAC、カンタス航空)

Xun Xiaorui 氏 (戦略企画部、中国国際航空)

Hala Ghanem 氏 (SAF調達、キャセイパシフィック)

**モデレーター:**

Alvin Chew 氏 (VP, Argus)

---

#### 16:40-17:10 – パネル:ブック&クレーム – 企業のSAF統合アプローチ

- ・ APAC企業はSAF・バイオ燃料証書をScope3算定にどう組み込んでいるか?
  - ・ 企業の調達戦略、出張ポリシー、航空会社・燃料生産者との連携は、SAF普及にどう寄与するか?
  - ・ 義務化が拡大するまで、自主的プログラムはどこまで橋渡しできるか?
  - ・ アジア独自のSAFサステナビリティ基準を作るべきか? ICAO/EU基準に合わせるべきか?
- 

#### 17:10-17:15 – 議長 挨拶 (閉会の辞)

#### 17:15-18:30 – ウェルカムドリンクレセプション

(全参加者対象)

### JP 4月14日 – メインカンファレンス Day 1 (日本語訳)

#### 08:00 – 09:00 – 朝食&受付

---

#### 09:00 – 09:10 – 議長 挨拶 (開会の辞)

登壇者:

Alvin Chew 氏 (VP、石油製品 & バイオ燃料、Argus)

---

#### 09:10 – 10:00 – 基調パネル: 複雑化する政策・地政学に、トレーダーと原料サプライヤーはどう向き合うべきか

- ・ 世界的にUCOなど主要原料価格が逼迫するなか、アジアは欧州・米国への輸出競争力をどう維持できるか?
- ・ 関税、CBAM、海上運賃、為替変動は、バイオディーゼル／原料(フィードストック)の着地コスト・価格形成・貿易フローにどう影響するか?
- ・ EUのサステナビリティ規則、ISCCなどの認証圧力、政策変動は、調達ルートやトレード戦略・リスク管理をどう変えるか?
- ・ 米国のクレジット制度変更やアンチダンピング措置は、国際貿易フローと調達戦略にどのような影響を与えているか?
- ・ オーストラリアは原料輸出中心モデルから、バイオ燃料・再生可能燃料の生産・輸出国へどのように転換しようとしているのか?

登壇者:

Jeredine Tan 氏 (ヘッド・オリジネーション & 水素デリバティブ – グローバルトレーディング)

グ、Moeve)

Andrea Martelli 氏 (グローバルヘッド BIO、Eni Trade & Biofuels)

Helen Oh 氏 (貿易・投資コミッショナー、Australian Trade and Investment Commission)

Anushka Nagu 氏 (バイオ燃料チケットトレーダー、Petroineos Trading Limited)

---

### 10:00 – 10:30 – プレゼン:Argus 市況見通し – バイオ燃料の現状と今後のカギ

- ・ 生産・消費トレンドが貿易フローと価格にどう影響しているか?
- ・ 今後6~12か月の市場に影響する主要トピックは?
- ・ 原料供給と需要の変化は収益性・投資判断にどう作用するか?
- ・ アジアの義務化政策 (インド E20、インドネシア B35、シンガポール、韓国、日本、中国) は、2030年までのバイオ燃料需要にどの程度影響するか?

#### 登壇者:

Jonty Richardson 氏 (シニアマネージャー、Argus)

---

### 10:30 – 11:15 – ネットワーキング・コーヒーブレイク

---

### 11:15 – 12:00 – プレゼン&パネル:欧州フォーカス – EU規制変化をビジネスチャンスに変える

- ・ EU加盟国はRED IIIをどのように導入しており、その結果APACサプライヤーに何が求められるか?
- ・ アジアの生産者は進化する欧州基準へどのように適合すべきか?
- ・ FuelEU Maritime、ReFuelEU Aviation、各国のセクター別支援が市場をどのように変えているか?
- ・ 2026年に義務化予定の Union Database (UDB) は、バイオ燃料サプライチェーンのトレーサビリティ・報告・検証にどう影響するか?

---

### 12:00 – 12:40 – パネル:アジアにおける原料調達・生産の実態

- ・ インドネシアは原料輸出を再開するのか? それともB50が供給を国内に固定化するのか?
- ・ インドネシア・マレーシアの原料輸出制限、中国のUCO国内留保を踏まえ、地域の供給量・価格はどうか変化するか?
- ・ UCOを含む廃棄物ベース原料の不足を引き起こす要因・トレンドとは?
- ・ 物流、供給網のボトルネック、貿易ルートは原料供給・価格にどう影響しているか?
- ・ スケールとサステナビリティを両立するための調達戦略やパートナーシップとは?

#### 登壇者:

Jennifer Wainwright 氏 (マネージングディレクター、Agave Resources Australia)

Lifei Liao 氏 (リージョナルチームリード、ロー・カーボン燃料トレーディング東アジア、Shell)

---

## 12:40 – 14:00 – ネットワーキング・ランチ

---

### 14:00 – 14:40 – パネル:アジアは増大するバイオ燃料需要を持続的に満たせるか?— 廃棄原料、パーム、新原料

(第2世代原料、パーム油、その他の革新的原料のサステナビリティ・トレーサビリティ・規制)

- ・ 2026年以降、輸出可能なパーム油残渣 (POME、PFAD、EFB、酸油) はどれくらいあるのか?
- ・ パーム油、サトウキビ、キャッサバなど「賛否両論ある」原料は、厳格化する国際サステナ基準にどう適合できるか?
- ・ 新原料 (藻類、リグノセルロース系、廃油脂など) は2028年頃までに実用化できるか?
- ・ 規制当局・生産者・バイヤーは、複雑な原料サプライチェーンの検証・認証・サステナビリティ保証をどう強化できるか?
- ・ 需要が高く供給が限られる中で、植物油やパーム油はアジアのバイオ燃料供給で現実的にどのような役割を果たしうるか?マレーシア・インドネシア・EUとの貿易ではサステナブルパームはどう進化しているか?

#### 登壇者:

Rahul Rajashekar 氏 (シニアマネージャー、Wilmar)

David Hodgson 氏 (シニアトレーダー、Mabanaft Singapore)

Malcolm Goh 氏 (マーケットレポーター、バイオ燃料 & ネットゼロ、Argus)

モデレーター:

Suwandi Winardi 氏 (副会長、APROBI—インドネシアバイオ燃料生産者協会)

---

### 14:40 – 15:20 – プレゼン&パネル:グローバルサプライチェーンは真のサステナビリティを実現できるか?

- ・ 国際的なサステナビリティ・認証制度をどう整合させるべきか?
  - ・ EU RED、CORSIA、各国基準はトレーサビリティと信頼性にどう影響するか?
  - ・ 新たな国際基準のもとで、本当に「グリーン」と認められる原料はどれか?
  - ・ 透明性と取引の信頼性を高めるために、グローバル供給網は何を改善できるか?
- 

## 15:20 – 16:15 – ネットワーキング・コーヒーブレイク

---

### 16:15 – 17:00 – プレゼン&パネル:中国の政策は世界の原料フローと地域市場にどう影響するか?

- ・ 中国の再生可能燃料・原料政策はどう進化し、地域貿易や輸出競争力に何をもたらすか？
- ・ UCOの中国国内処理量増加は、世界の原料供給・価格にどう影響するか？
- ・ 今後数年で中国の再生可能燃料にどんな新製油所・投資が進むのか？
- ・ 中国の急速な進展は、脱炭素とエネルギー安全保障を両立したい他のアジア市場のモデルになり得るか？

**登壇者:**

Cora Wang 氏 (Cargill)

---

**17:00 – 17:05 – 議長 挨拶 (閉会の辞)**

---

**17:05 – 18:30 – カクテルレセプション**

バイオ燃料・カーボン関連のイベント参加者が集う、リラックスしたネットワーキングの場です。

政策立案者・意思決定者・業界イノベーターなど、新たなアイデア創出や有意義なコラボレーションにつながる絶好の機会です。

**JP 4月15日 – メインカンファレンス Day 2 (日本語訳)****08:00 – 09:00 – 朝食&受付**

---

**09:00 – 09:05 – 議長 挨拶 (開会の辞)****登壇者:**

Alvin Chew 氏 (VP、石油製品 & バイオ燃料、Argus)

---

**09:05 – 09:40 – プレゼン&パネル: バイオナフサ等の再生可能原料は、アジアの石化・プラスチック部門の脱炭素化にどう貢献できるか？**

- ・ アジアで透明性と信頼性のあるバイオナフサ供給網を構築する上で、認証、追跡、マスバランスの主な課題とは？
- ・ 精製事業者、ポリマー生産者、消費財ブランドまでのバリューチェーン連携は、低炭素製品のトレーサビリティ確保とグリーン素材需要の創出にどう貢献するか？
- ・ バイオナフサの価格設定は、炭素強度に基づいたプレミアム商品として設定すべきか、それとも化石ナフサに連動させるべきか？
- ・ グリーンウォッシングを回避し、上流からブランド企業に至るまで透明で追跡可能なバリューチェーンを構築するには何が必要か？

**登壇者:**

Cai Rong Lim 氏 (シニアマネージャー、Biomass Balance Solutions Asia Pacific、BASF)



Lucas Palhares 氏 (ヘッド・サステナブルトランスフォーメーション、Braskem)

---

**09:40 – 10:30 – パネル:海運フォーカス – IMO規制遅延と地域義務化は、アジアの船舶燃料市場をどう再形成するか?**

- ・ FuelEU Maritime や IMO GHG 規則遅延は、アジア～欧州航路の経済性・燃料戦略にどう影響するか?
  - ・ アジアの港湾における主要なブレンド・物流ボトルネックとは?
  - ・ 2026～2030年に最もスケールし得る低炭素船舶燃料はどれか?
  - ・ アジアの製油・港湾インフラは、安定的かつ競争力のある低炭素バンカリングネットワークの構築にどう寄与できるか?
- 

**10:30 – 11:15 – ネットワーキング・コーヒーブレイク**

---

**11:15 – 12:00 – プレゼン&パネル:APAC の低炭素燃料の未来におけるエタノールの役割とは?**

- ・ インド (E20～E30)、日本 (E10およびATJ)、東南アジアでのエタノール義務化上昇は、アジアの供給・貿易フロー・価格をどう変えるか?
- ・ エタノール需要が道路用燃料と SAF (ATJ経由) の両方で拡大する中、アジアは供給競合に直面するか?どの国が純輸入国/純輸出国になるか?
- ・ アジアのブレンド義務化、国内政策、原料供給力は、世界のエタノール市場・価格形成をどう左右しているか?
- ・ エタノールは持続可能な船舶燃料となり得るのか?規制・技術・サプライチェーンの課題は何か?

**登壇者:**

Akira Takashima 氏 (シニアトレーダー、Raizen Asia)

Chris Markey 氏 (副リージョナルディレクター、Southeast Asia & Oceania、U.S. Grains & Bio-Products Council)

**モデレーター:**

Kenneth Lim 氏 (プログラム & パートナーシップマネージャー、Global Centre for Green Fuels)

---

**12:00 – 12:40 – プレゼン:アジアのバイオ燃料生産・精製・サステナビリティを変革する技術とは?**

- ・ 廃棄物系や第2世代原料を含むバイオ燃料において、生産量向上・効率改善・コスト削減を実現する新しい生産・前処理技術とは?
- ・ 最先端の精製・前処理技術導入における阻害要因は何か?
- ・ カーボンキャプチャなどの技術革新は脱炭素化にどう貢献するか?
- ・ サプライチェーンの効率化と変動管理を支援する金融・運用テクノロジーとは?

---

**12:30 – 14:00 – 議長 閉会の辞 & ネットワーキングランチ**

**登壇者:**

Alvin Chew 氏 (VP、石油製品 & バイオ燃料、Argus)

この特別ネットワーキングランチでは、Argusの主要3カンファレンス（バイオ燃料・カーボン・グリーンマリン燃料）の参加者が一堂に会します。

多様でありながら非常に関連性の高い業界リーダーが集まるため、新しいアイデアが生まれ、実践的な協業につながる絶好の機会です。